

記事要約

JICA ボランティアが 2017～2019 年の協力活動を報告



MEPyD（経済企画開発省）と JICA は、2017 年 2 次隊の JICA ボランティアが 2019 年 10 月までに実施した様々な活動の最終報告会を開催しました。

プレゼンテーションはスライドを用いて行われ、JICA ボランティアが受入機関やそのスタッフへの裨益を目的として実施された様々な活動を通じ、コミュニティと地域の住民の強化と発展に貢献してきたことが報告されました。

報告会の冒頭、二国間協力の担当局長であるイヴァン・マルセル・クルス・ブルゴスは、プロジェクトが技術的および専門的な能力開発を通じた組織強化に繋がっていると、JICA に感謝の意を述べました。

また、JICA のボランティア事業担当である平田職員は、経済企画開発省が JICA ボランティアプログラムに行っている、長年にわたる多大な支援に対し、感謝の意を述べました。

「MEPyD の協力無しに、JICA ボランティアは活動を遂行することはできませんでした。今日、任期を終えるボランティアは、2 年間のミッションで多大な努力を通じてドミニカ共和国の開発に貢献し、ドミニカ共和国と日本の友好関係を強固なものにしてきました」と平田は語りました。

1986 年以來、JICA はボランティア派遣を通じて、ドミニカ共和国内のコミュニティや団体・組織に対し、農業、コミュニティ、スポーツ、健康、教育等の分野でプロジェクトを促進しています。

今回任期を終えるボランティアの、専門分野と配属先は以下の通り。

コミュニティ開発；子どもの予防と口腔衛生のための財団、アルタグラシア県イグエイ支部。

作業療法士；サン・ビセンテ・デ・パウル協会、サンティアゴ市。

栄養士；糖尿病との闘いの会、サンティアゴ市。

卓球；国立体育研究所（INEFI）、モンテプラタ県バジャグアナ支部。

青少年活動；NGO アクション・カジェヘーラ、サンティアゴ市。

縫製；サントドミンゴ自治大学芸術学部

理学療法士；ドミニカリハビリテーション協会（ADR）、サントドミンゴ市。

音楽；国立演劇芸術学校（ENAD）、サントドミンゴ市。

マーケティング；モンテプラタ・パイナップル生産者協会、モンテプラタ県。